

【92】 運転を見合わせる

去る10月に、東急、田園都市線の電車同士の接触による脱線事故で、丸一日にわたり電車の運転が不可能になり、のべ70万人の乗客が影響を受けました。

幸い死傷者はありませんでしたが、事故の調査やら復旧やらで、電車は動けないのですが、TVや新聞などのメディアそして駅の標示も"電車の運転を見合わせている"という言葉づかいで伝えているのに非常に違和感を覚えました。

こういう運転が不可能のときは、運転を見合わせるのではなく"運転中止"だろうと思ったのですが、たまたま読んだ、高島俊男先生の「お言葉ですが・・・」（文春文庫）にそのことが明快に解説されていたので引用紹介します。

”・・・・・・地震の翌日、テレビで、「新幹線は数ヵ所で橋桁が落下したため、運転を見あわせています。」と言っていた。

何でもものごとをとりやめることを「見あわせる」と言うものと思っているようだが、そうではない。やってやれぬことはないが、大事をとってやめておくのが「見あわせる」である。

「このケーキ、賞味期間を二日すぎているけど、クンクン、大丈夫なようだ。食べるかい？」

「まあ、おれは見あわせておこう。」というようなのが「見あわせる」である。絶対不可能なばあいにもちいることばではない。”

冒頭の地震は、平成7年（1995）1月の阪神淡路大震災の事ですから、もう30年も前に「見合わせる」はメディアでも使われていたのですね。